

PTA 総会 挨拶

保護者の皆様、御多用のところお越しいただきありがとうございます。校長の白藤でございます。2年目となりました。御時間をいただき、御挨拶申し上げます。

私事ですが、小千谷は小出高校に新採用の際、4年間生活した思い出の地です。その後国際情報、十日町総合で教諭を終え、総合学科はそれ以来です。北魚、南魚、中魚と魚沼地区での勤務が続き、教頭時代には八海でも勤務し、魚沼に御縁を感じます。中越地震前後の小千谷の街並みの変化、震災復興に向けての市民の皆さんの姿も目にしてきて、勇気づけられました。昨年、中越地震発生から20年、総合学科開設から30年という節目の年に着任し、御縁を感じている次第です。

さて西高は、3年定員割れが続いていたことから今年度1学級減となり3学級募集となりました。校長として生徒募集が学校経営の第一義としてとらえ、着任後HPや学校案内を刷新し、小千谷市内はもちろん魚沼各地区、長岡や見附市内の中学校を回り、4年ぶりに定員を満ちし、新入生120名を迎えました。新学期がスタートして1ヶ月経ち、緊張感が続いてきた中、GWでリフレッシュできたことかと思えます。

1年次生は、学校に慣れ、学校が楽しいという声を聞くたびにうれしく感じます。まずは、良好な人間関係づくりと基本的な生活習慣の確立を願っています。

2年次生は、新たなクラスで学校の中核となれるよう学習・部活動等に頑張ってもらいたいですし、九州への修学旅行も楽しみにしていることと思えます。

3年次生は、進路決定の大切な1年となります。総合学科で学んだ強みを生かし、就職をはじめ、専門学校や大学等上級学校進学への進路実現を果たしてほしいです。

来週月曜日から第1回定期考査が始まります。新年度から約1ヶ月ですので、学習範囲が狭く、頑張りの成果を発揮できるチャンスでもあります。計画的な学習のもと、全力で臨んでほしいと考えます。

今のところ落ち着いた年度の始まりですが、昨年度との大きな違い、それは安易な遅刻、欠席者が激減していると感じていることです。職員による基本的な生活習慣の確立をめざした指導、御家庭での御理解と御協力、そして生徒自身の自覚と意識の現れにより行動にも変化が出てきたのではと感じています。「継続は力なり」、シンプルですが、難しいことですね。「高校は社会に出るまでの訓練の場である」と、生徒や職員にもよく話をしていますが、卒業後、厳しい実社会で対応できるよう、鍛え育て送り出したいと思っています。その基本となるのが、健康管理・時間厳守・挨拶であると考えています。日々自覚して努力してほしいですし、仮に遅刻・欠席したとしても「また明日から頑張る」といった、つまずきや失敗を修正する力や気持ちを切り替える力、人と関わる上で元気で爽やかな挨拶を大切にしてほしいと考えます。

—昨年度創立60周年を迎え、これを機に今年度入学生から制服リニューアルとなり、また今年度1年次から2人担任制を敷き、多面的な生徒理解と生徒支援による面倒見の良い学校づくりを行い、生まれ変わる西高をめざしてまいります。コロナ禍以降学びや生活のスタイルも変化し、様々な変化に柔軟に対応していくことが求められており、本校においてもより良い方向へ進めるよう、教訓を生かしながら学校経営に尽力してまいります。5月末から中学校訪問をしてまいります。お知り合いの中3生がいらっしゃいましたら、是非とも小千谷西高校の宣伝をよろしく願います。

本校生徒の様々な教育活動や、その生徒たちの頑張り、エネルギーを正しい方向に向けるためには、周りの大人の支援が必要であり、物心両面で本校生徒の活動を支えてくださっているPTAの皆様の熱い気持ち、御支援に改めて感謝を申し上げます。

午前中は授業参観ができるよう公開授業としました。参観された保護者の皆様、いかがだったでしょうか。また、本日の議事については事前の書面審議とさせていただきましたが回答ありがとうございました。昨今、PTA 組織の在り方自体が話題になることも多くなりましたが、PTA 活動を通して、学校と家庭がともにわが子を自立した大人へ育てられるよう、連携を深めてまいりたいと思います。

先程も申し上げましたが私どもは、「高校は社会に出るまでの訓練の場」、あるいは「生徒指導は進路指導の根幹・基盤」という観点で、基本的生活習慣を確立させ、卒業後、社会での困難に耐え乗り越え逞しく生き抜く「人間力」を育成してまいります。

改めまして、日ごろの親子のコミュニケーションはいかがでしょうか。学校の役割として、やるべきこと、厳しい指導もせざるを得ないことも少なくありませんが、学校任せにしている御家庭はありませんか。また、生徒は都合の良いように解釈して保護者へ伝えることもあり、それを受け止め、学校へクレームや要望をいただく場合もございます。学校として至らない点もあるかもしれませんが、誠心誠意、情熱を持って対応するよう、職員には話をしています。お互いに誤解が生じないよう、日ごろから密な連携を図り、信頼関係を構築して生徒の成長を支援してまいりましょう。

多感な思春期のお子様をもつ保護者の皆様にとって、また、私ども教職員にとっても生徒への個に応じたケアが必要な時期となっています。子どもの変化に敏感でありますよう、アンテナを高く、感度良く、子どものSOSに気づけるよう、よろしくお願ひします。その他、SNSに係る事案、交通事故等、年中心配はつきません。スマホについてですが、使い方、使用時間をきちんと御家庭で決め、ルール作りをして守らせてください。スマホが今後の学校生活、学習成績、学習成果に大きく関わっていくことを申し添えておきます。

また、私ども教職員は、いじめを許さず見逃しません。いじめは起こりうるものとして毅然と対処、指導しながら、まずは未然防止に努めます。具体的には、多様性を尊重して様々な価値観を認め合う雰囲気をつくり、かけがえのない命の大切さやいじめ見逃しゼロを訴え、他者への思いやりや自己肯定感の醸成等に努めます。そうすることにより、安全・安心な学校づくりをめざし、誰一人取り残すことなく親身に丁寧に生徒がたくましく成長できるよう、きめ細やかに支援してまいります。本校の「いじめ防止基本方針」「実践のための行動計画」「いじめ発生時のフローチャート」についてはこのあと担当から説明します。

なお、本校ではお預かりした大切な生徒の命と身体と心を守るために、状況に応じて家庭連絡の前に、医療・警察等、外部機関と連携することがありますので御承知おきください。その他、今後HPで学校の取組等、掲載・更新し、メール等でも発信しますので御覧ください。

このあと、後半には、教務部、生徒指導部、進路指導部、いじめ対策推進教員より、学校概要を説明申し上げます。学校と家庭が連携しながら生徒を支援し、本校PTA活動が充実して総会後の年次PTAが有意義となることを祈念して挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。